

平成30年度

清水町議会報告会と町民との意見交換会

報 告 書



平成30年10月

清水町議会

1 開催状況

地区	日時	会場	参加者	出席議員	出席事務局
清水地区	平成30年5月29日(火) 19:00~20:35	文化センター 2階会議室	31人	担当8人 傍聴4人	3人
御影地区	平成30年5月30日(水) 19:00~20:27	御影公民館 2階講義室	8人	担当8人 傍聴4人	3人
計			39人		

2 質疑、意見・提言等、アンケートの状況

地区	質疑、意見・提言等件数				アンケート回収 ＜意見・要望件数＞
	内 訳				
	質 疑	テ ー マ	そ の 他		
清水地区	12件	0件	10件	2件	23枚＜6件＞
御影地区	14件	0件	7件	7件	6枚＜1件＞
計	26件	0件	17件	9件	29枚＜7件＞

※意見・提言等の聴取は、テーマ「町議会議員の定数・報酬について」、テーマ以外のその他について意見交換を実施した。

3 質疑、意見・提言等、アンケートの意見・要望の処理方法（類似した内容は一項目として処理）

会場で回答済みとした項目	委員会で調査、検討が必要とした項目				未回答
	議会活性化	議会運営	総務産業	厚生文教	
6項目 【4のとおり】	1項目* 【5(1)のとおり】	5項目 【5(2)のとおり】	5項目 【5(3)のとおり】	2項目 【5(4)のとおり】	1項目

*町議会議員の定数・報酬は1項目として処理

4 会場で回答済みとした項目

No.	質疑、意見・提言等	回 答
1	現議員が出馬したときのことを聞かせてほしい。	<p>声をかけられていた経緯もあり立候補した。報酬と定数は十分であるが、他の町村を参考にしながら議論した。</p> <p>周りの人の意見を町政に伝える、出来ないことを成し遂げるために立候補した。いくらだから議員になろうとの気持ちはない。任期は1月まで、次の方が活動できるように報酬について矢面に立っている。</p>

		<p>町民から色々な意見を聞き、町政に反映してほしいとお願いされ立候補した。自分が正しいのか、どうしたらよいかを仕分けし、町政に反映していければと思っている。</p> <p>商工青年部で商工振興に関わっていた中、40歳で青年部を終わり、仲間から出ないかと言われ立候補した。商工振興と町の発展のために力になればという単純な動機。</p> <p>地域性を考えて決断した。報酬は高いとか安いとかは考えていなかった。補欠選挙ではリアクションがない、そういう面から大勢が立候補できる方法、今は報酬・定数が話題になっている。</p> <p>町長を応援する農業者が多く、皆さんに押されて立候補した。定例議会・委員会等があるが、自分で考える時間が多く、議員活動は大変で、報酬も決して高くないと感じている。</p> <p>男女平等参画が浸透してきており、私が落ちても次に女性候補が出てくれるのではの思いで決断した。その時には報酬は考えてもいなかった。</p> <p>老人クラブ会長等から話があり、色々な方に勧められ出馬し、今日に至っている。議会は報酬を上げるために意見を聞いているのではなく、皆さんの意見を聞いて判断したい。</p>
2	議長会の十勝標準の金額はいくらなのか。	十勝町村議会議長会で報酬議論の材料になるように十勝標準の数字を示した。活動を調べて月額を試算している。(議員は222,000円)
3	報酬は仕事に対する対価とのことで、今まで3回下げた理由を聞きたい。	平成13年頃から清水町の行財政改革が始まり、職員の給与削減、使用料の負担増と並行して、議会も定数を13名に減らし報酬も下げている。
4	定数は現在13名だが、活動のボリュームとして足りないのか多いのか、議員の感覚を聞かせてほしい。	<p>議長を除いた12名で2常任委員会を構成する。委員会は6名で委員長のほか5名で議論になるが、委員長のほか4名だと意見が分かれた時に難しい要素があり、これ以上減らせない。</p> <p>13名が理想的だと思う。11名・9名・7名になると議会活動が行えなく、なお更議員のなり手がなくなる。</p> <p>今の13名がちょうどいいと思う。人口からみても13名が妥当。</p>

		<p>財政難の中で議員定数を減らそうとなった。その時に委員会活動が重要となり、委員会を6人にすると採決する時に奇数で、町の規模からも13人で議会活動は可能となった。</p> <p>議員になる前に18名の議員数を9名・11名との請願を出し、最終的に13名になった。議員になって活動すると奥深いものがあり、町民との対話が大切で、減らせばいいものではない。</p>
5	住民との接点を考えると、政務活動費を研究する必要があるのではないか。鹿追町と音更町はあり、鹿追町ではバイオ関係の勉強に出かけている。	報酬を上げて政務活動費もというのは、「町議会はよくやっている、活動している」という時期ならいいが、今はその時期ではないとの結論になった。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から御影市街地の道路が町に移管になったと聞いたが、広報に書かれていない。道道はどこからどこまでなのか。 ・下側の熊牛へは道道なのか。道が管理するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朴沢病院から旭山方面への南5線までが町道に移管され、広報紙にも載っている。 ・そのとおり。

5 委員会で調査、検討が必要とした項目

(1) 議会に対するもの①（議会活性化特別委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりで全国的に議員のなり手不足に悩む町村が増えており、なり手不足の要因と報酬について書かれているが、他のことはないのか。 ・報酬は現状のまま、定数は10人くらいでいい。なり手不足が心配だが、土・日曜日の議会にする等、なぜ議員にならないのかの声を拾わないで、ただ報酬を上げることにはならない。 ・議員のなり手不足に報酬も含まれると思うが、なぜ全国的になり手不足になっているのか。 	<p>議員のなり手不足には様々な要因があるが、議員定数はより多くの町民の声に耳を傾けるため、更に3常任委員会・議会運営委員会の活動も考慮して現状の13人のままの結論になった。議員報酬については、十勝町村議会議長会が作成した議員報酬（月額）「十勝標準」を参考に本町議会議員の活動量に応じた報酬月額を試算して引き上げの案（議員は203,000円）を示したが、議会報告会と町民との意見交換会及び議会活性化等の町民アンケートにより町民意見の聴取を行ったところ、一定の理解は得られたが大多数の方の理解を得るまでには至っていないと判断し、現状維持の結論になった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上は年金があり、今のままでいい。40・50歳代を増額したほうがなり手不足が解消するのではないか。なり手不足は報酬ではなく、やりがいではと思う。 ・少ないと言うのであれば報酬を上げてもいい。ただし、一律ではなく若い人に分配を多くしてほしい。 	

<p>町民はどの程度の働きか分からないし、民生委員等の報酬を先に考え、最後に議員で、町長等も変わってくる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬を上げる理由が分からない。議員のなり手がいないので報酬を上げる、もう一つは十勝管内で低いから上げるように聞こえる。 ・議員報酬が上がったから議員になろうという人はいない。管内の議員同士が、手打ちをしているようで、財政難の時に上げるのか。結果として、報酬を上げる要因になっている。 	
<p>定数と報酬は別物だと思う。定数の問題、議員のなり手は増えない、自分から議員になるのは何人かで、地域から推薦を受けてなる方が多い。今の定数で運営できるのか、整理してから意見をもらわないといけない。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・議員の活動が町民には見えづらく、どれくらいの報酬かは難しい。報酬は議員の中で調査をした金額でいいのではないか。 ・報酬の引き上げを考えていくべきと思う。 ・議員の定数・報酬については、議会活性化特別委員会が示している案に全面的に賛成。ただ「議員のなり手不足」の要因として報酬は一要素で、様々な問題・課題が見え隠れしており、本質は別のところにあると思う。 	
<p>定数 13 名の根拠は何か。議員個々の話では、皆さん報酬は関心がなかった。報酬を上げたらもっと勉強できる、もっと本も読める、そういうのがあるのか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬を上げるのはいいが、定数を減らしてと考えていた。定数を減らすのは難しいというので、すっきりしない。 ・報酬を上げるのは賛成だが、上げる理由を町民が納得の上でとなり、どうしても定数はということになる。 ・議員報酬を上げるのに、定数をなぜ減らさないのかという意見が出るのではないか。 ・定数を減らして報酬を上げては。 	
<p>定数は少なくとも 3 人ぐらいは抽選で選んで、裁判員制度みたいな感じでもいい。</p>	

	議員の仕事があまり分からないので、報酬が適当かどうか分からないが、今までどおりで十分と思う。財政難のことも十分考慮してほしい。	
--	---	--

(2) 議会に対するもの② (議会運営委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<ul style="list-style-type: none"> ・住民との接点を問題視する意見もあり、議会の質のあり方、議論を分かりやすいように進めることを住民は期待している。 ・議会（議員）と住民の接点について、より距離を縮めていくような工夫、努力が必要かと思う。議員力アップにつながることであり、議場での住民に分かりやすい理論構成に満ちた質問により、自然に住民は引きつけられていき、議会に関心を示していくことにもなる。長い道だが、その辺を期待している。住民全ての理解を得ることは困難だが、議会活性化特別委員会の活動を評価している。 	<p>住民との接点は議会報告会と町民との意見交換会などに取り組んでおり、更に広報広聴活動の充実に向けて新たに広報広聴常任委員会を設置している。</p> <p>議員力については、研修受講の継続等により町民の期待に応えていきたい。</p>
2	年金の話もあるが、意見書を提出したと聞いているので、全体的に説明できるように対応してほしい。	議員のなり手不足の一方策として、全国町村議会議長会からの要請に基づき、平成 29 年 3 月に「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を国へ提出している。
3	司会しゃべり過ぎ。	議会活性化特別委員会の正副委員長が司会進行を務め、答弁者的な役割も担っていたが、今後は役割分担に応じた運営に努めていきたい。
4	意見・提言の聴取とあったが、発言した人への反論的な答弁もあったと思うので残念。	議会内での調査・検討結果の説明を行ったが、今後は注意して進めていきたい。
5	来年は飲み物を出してほしい。	執行側の懇談会でも飲み物の提供は行っておらず、期待に応えられない。

(3) 町政に対するもの① (総務産業常任委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会になって、病院に行く、買い物に行く等で車に乗る機会が多い。清水町は高齢者の足をどのようにするのか。 ・清水高校スクール線は自分の行くところで降ろしてもらえない。都合のいいところで乗り降りできる方法を考えてほしい。この問題は即やしてほしい。 	<p>地域公共交通として市街地のコミュニティバス、農村部の予約型乗合タクシー、清水高校スクール線活用の清水帯広線バスを運行しており、現在の取り組みを更に周知して利用促進を図るよう執行側へ伝える。</p> <p>清水帯広線バスのフリー乗降は、使用車両や料金などの課題がある。</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業はどうなっているのか。みんな枯れている、何のために木を植えているのか。どこでも枯れている。 ・あんな切り方は誰がするのか。業者の金儲けのためにやっているのではないか。 	町道の街路樹剪定は専門業者へ委託し、枯れてしまったものは伐採しており、農村部の道路にはみ出した樹木は、維持管理の中で剪定している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・御影でひどい臭いがする。 ・牛ではなく豚の臭い。 ・市街地はしない。 	御影地区における豚の臭いに関する苦情は届いていない。
4	除雪も開始時間が遅すぎる。9時や10時で会社に行くのに間に合わない。	除雪作業は基準により行っているが、降雪の状況によっては作業開始時間を変更するなど、臨機応変に効果の高い除雪作業を行うよう執行側へ伝える。
5	草刈り、電柱の周り等は機械が入らないのでそのまま。業者は請け負っており、きれいにやるのが当たり前ではないか。	路線によって草刈りを行っているが、機械車両で草刈りをする場合、基本的に電柱周りは刈っていない。

(4) 町政に対するもの② (厚生文教常任委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	昨年は高齢者の運転免許証自主返納がテーマだった。議会として環境整備を検討するような話だったが、その結果を聞きたい。	高齢者運転免許証自主返納者への支援として、タクシー乗車券の発行、コミュニティバスの無料乗車（2年）の取り組みが行われており、議会としても今後の取り組みを見守っていきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみのペットボトル、洗わない人もいる。あれは業者がやり直している。 ・見ているが、いい加減にやっているだけだ。 	一般家庭から排出されるペットボトルの資源ごみは、中身に汚れがあるものは収集しておらず、収集してから委託業者が洗浄することは考えられない。

6 アンケート集計結果

1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性別 男性：22人、女性：7人

年齢 20歳代：0人、30歳代：0人、40歳代：2人、50歳代：7人、
60歳代：4人、70歳以上：14人、無回答：2人

2. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように知りましたか。

議会だより：7人、お知らせ版：7人、新聞折込みチラシ：8人、
ホームページ：2人、その他：12人（複数回答）

3. 「議会報告」の内容はどうでしたか。

分かりやすかった：5人、どちらともいえない：12人、分かりにくかった：6人、
無回答：6人

4. 「町議会議員の定数」は現在13人ですが、今後の議員定数はどうあるべきだと思いますか。

現在より減らすべき：8人（内訳 定数10人が6・定数11人が2）、
現在のままでよい：17人、現在より増やすべき：2人（内訳 定数15人が1）、
無回答：2人

5. 「町議会議員の報酬」は現在月額18万3千円ですが、今後の議員報酬月額はどうあるべきだと思いますか。

現在より下げるべき：1人、現在のままでよい：12人、
試算の額（20万3千円）でよい：6人、
試算の額（20万3千円）より更に上げるべき：9人、無回答：1人

6. 「議会報告会と町民との意見交換会」を評価しますか。

評価する：19人、どちらともいえない：8人、評価しない：1人、無回答：1人

7. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる：15人、関心のあるものだけ読んでいる：11人、
読んでいない：2人、無回答：1人

8. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている：5人、時々見ている：7人、
インターネットを利用しているが見たことはない：5人、
インターネットを利用していないので見たことはない11人、無回答1人

9. 清水町議会議員に期待することは何ですか。

町政の監視機能：12人、具体的な政策の提言：18人、町民との対話：14人、
議会情報の発信：5人、その他：1人（複数回答）



7 昨年の意見・提言等で執行側へ対応を求めた項目の検証結果

H29年 意見・提言等	H29年 調査、検討結果	H30年 検証結果
ドローンについて提案したが、現状は。	ドローンは平成29年度に防災備品として購入予定であるが、貸し出しの要望もあるため、使用方法を定めて運用するよう執行側へ伝える。	ドローン貸出要綱を平成30年7月に作成している。
防災訓練を行うべきで、自衛隊をより有効に活用すべきである。	防災訓練は非常に重要なことで、今後の必要性を執行側へ伝える。	関係機関や町民も参加しての清水町総合防災訓練が9月23日に開催される予定である。

